

**製品名: CMTA2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09083**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	132kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CAMTA2 KIAA0909
別名	
遺伝子 ID	23125.0
SwissProt ID	O94983
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

**背景**

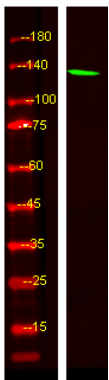
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カルモジュリン結合転写活性化タンパク質ファミリーのメンバーです。このファミリーのメンバーは、転写活性化ドメイン、DNA結合ドメイン、およびカルモジュリン結合ドメインからなる共通のドメイン構造を共

有しています。コードされるタンパク質は、心臓の成長に関与する遺伝子の転写共活性化因子である可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010年1月],機能: 転写活性化因子。腫瘍抑制因子として作用する可能性があります。類似性: CAMTA ファミリーに属します。類似性: 1つのCG-1 DNA結合ドメインを含みます。類似性: 1つのIPT/TIGドメインを含みます。類似性: 2つのIQドメインを含みます。類似性: 3つのANKリピートを含みます。サブユニット: カルモジュリンと相互作用する可能性があります。組織特異性: 脳で検出されます。神経芽細胞株では細胞周期を通じて一定レベルで発現します。

## 研究分野

-

## 画像データ



HEK293 の溶解物のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。